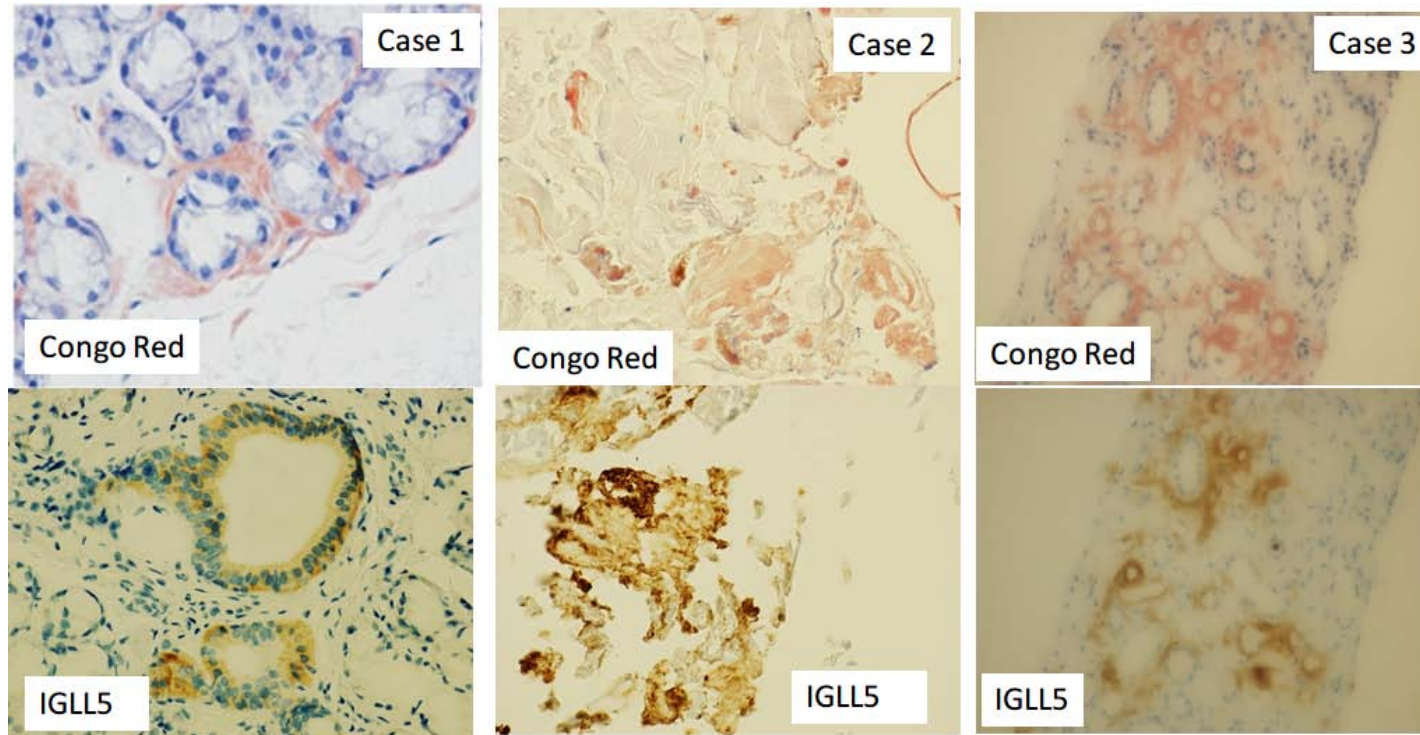


IGLC2沈着 ALアミロイドーシス



ヒト免疫グロブリン鎖、IGLC2によるALアミロイドーシスの特徴

- 1: DAKOのp0130抗体では染色できないため、確定診断が困難。
- 2: LC-MS/MSではIGLC2の沈着を認める(抗IGLL5抗体で判定)。
- 3: 骨髄由来形質細胞にも、IGLC2のmRNA発現を認める。
- 4: 加療により血液学的緩解となっても、臓器障害は回復しにくい。

IGLC2のアミロイド変性機序解明が重要である。